

## 聴力精査目的に受診された0～6歳児のご家族様（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の全国的な臨床研究に参加しています。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることで行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

**研究課題名：**難聴が疑われて乳幼児精密聴力検査機関を受診した0歳～6歳児の社会的調査

**研究機関：**山形大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

**研究責任者：**欠畑誠治（耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座教授）

### 研究の目的：

乳幼児の難聴早期発見をするための機会として、0歳児の新生児聴覚スクリーニング、1歳6カ月健診、3歳児健診、および就学時健診がありますが、その他に音への反応が薄い、言葉が遅い、という理由で家族が心配して小児科医や耳鼻科医に助言を求めることもあります。健診や助言を聞く機会がなかったために難聴の発見が遅れた症例も認められます。日本耳鼻咽喉科学会ではすでに2年に1度の割合で、全国の精密聴力検査機関に対して0歳から2歳までに発見された難聴児について、紹介元や検査結果、療育先、すでに受けた検診結果についての調査を行っています。今後、対象を0歳から6歳までに拡大し、継続的に調査を実施する予定です。これにより新生児聴覚スクリーニングやその他の健診と難聴発見年齢について解析し、日本耳鼻咽喉科学会から早期に難聴を発見するための健診のあり方など政策提言を発信することが可能になります。

### 研究の方法：

難聴が疑われて精密検査機関（山形大学医学部附属病院）を受診した0、1、2、3、4、5および6歳児について、受診した契機、発見された難聴児の人数、難聴の種類、難聴発見後の療育の有無について集計し、日本耳鼻咽喉科学会へ報告します。

### 個人情報の取り扱い：

お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は使用しません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### 問い合わせ：

日本海総合病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 松井 祐興  
山形県酒田市あきほ町30番地 TEL：0236-26-2001（代）